



～若き心 集まるところ～ No.8

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長 力石 裕司

今年度の折り返し、後期のスタートです！

10月に入っても、まだまだ半袖でも過ごせるくらいの暑い日が続いていましたが、月末になり、ようやく秋らしい涼しさとなりました。予報では、この冬は例年より寒くなるとのこと。異常気象という言葉を目にするようになってから久しいですが、夏の異常な暑さなど、一昔前の状況と異なり、気候変動が急速に進んでいるように感じます。数十年後はどうなっているのか心配になりますね。



前期終業式では、数年前に101歳で亡くなられた随筆家、生活評論家の吉沢久子さんの著書「100歳の100の知恵」の中の話を紹介し、次のような話をしました。

- 吉沢さんは著書の中で、「人の悪口や噂話には入らない。そういう雰囲気になったら、自然に席を外すようにしている。」
「悪口を言うときの人の顔は、観察すると、酷くゆがんでいる。相手をおどめるような噂話をしている人たちの顔も同じ。」
「頻繁にそういう顔をしていると、その表情が顔に刻み込まれ、いずれ意地の悪い顔つきになってしまう。」「噂話が好きな人は、その場で一緒に盛り上がっていた人のことも、また別の場所で噂するはず。悪口も同じ。」「そういう人とは、関わらないのが一番。価値観を共有できる人と、風通しがいい、ほどほどの人間関係を大事にするだけで充分。」と言っています。
- この話を聞いてどう思いましたか？どんな光景や顔の表情が思い浮かんだでしょうか？普段の何気ない会話や、SNSなどのやりとりや書き込みをしているときなどの、皆さん自身を振り返ってみてください。
- 皆さんの会話は、好きなことや誰かの良いところを話していることと、誰かを批判したり、悪く言ったりしていることのどちらが多いですか？吉沢さんが言うような“酷くゆがんだ顔”になっている場面はありませんか？
- 誰かのことを、横目で見たり、通りすがりに、仲間と自配せしたりして、聞こえないようにひそひそと話していませんか？そんなときの表情は、輝いているでしょうか？大切な人に見せられる顔でしょうか？
- 反対に、その場にいらない誰かの良いところを話題にしたり、褒めていたりする場面はどうでしょうか？
- 決して、酷くゆがんだ顔をしている人はいないと思います。誰かの良さやすごさ、魅力を嬉しそうに話し、“優しく素敵な笑顔”になっているはず。その話を聞いている周りの人たちの表情も、悪くなるはずはありません。
- 他人の悪口や誹謗中傷は、その相手を攻撃しているつもりが、それを聞いている周りの人たちにも悪影響を及ぼすだけでなく、自分自身すら“醜い姿”に変えてしまいます。
- 歪んだ心は、一瞬は隠せ、ごまかせるかもしれませんが、しかし、吉沢さんの言うように、いつか顔に刻み込まれ、表情に表れることになると思います。
- 今年度の台中のスローガンに「心の笑顔」という言葉があります。きれいな「心の笑顔」をもって行動していれば、きっと本当の笑顔溢れる素敵な表情の魅力的な人になると思います。是非、周囲の人たちを観察するとともに、時々自分自身の顔の前に鏡を置いたつもりで、自分の顔をのぞき込んでみてください。
- 5日間の短い休みを挟んで、後期が始まります。皆さんの、他者への思いやりに溢れる優しい心が行動につながり、台中の全ての生徒から優しい素敵な表情を見られることを期待しています。



10月17日の始業式では、旧生徒会本部役員に感謝状、新役員に任命状を渡し、一人一人から挨拶をしてもらいました。旧役員の一人在「2年間務めた本部役員の仕事は、私の青春の1ページになりました。」と言っていました。勉強、部活動、習い事、趣味・・・どんなことでも一生懸命やれば、必ず自分の大切な場面として残るものになると思える「素敵な言葉」でした。

25日には、新役員7名と一緒に校長室で昼食をとりながら、短い時間でしたが、台中をよりよくしたいという一人一人の思いを聞かせてもらいました。普段、生徒と直接関わる機会が少ない私には、とても楽しい時間となりました！生徒たちも「またやりたい！」と言ってくれたので、次回も楽しみです！

給食が始まりました！

10月4日のプレ給食を経て、17日の後期のスタートとともに給食が始まりました。本校の給食喫食率は6～7割と、現時点ではやや少ないですが、初日のメインは季節の野菜入りドライカレー・・・弁当を持参している生徒がのぞき込み、「おいしそう～」の声も聞こえました。

2週間ほど経ちましたが、毎日のメニューもバラエティに富み、何よりも、熱々ではないですが、ごはんと汁物が少し温かいことで、美味しさもアップしています。校長は「検食」のため、生徒より少し早めにいただくことになっていますが、毎日美味しくいただき、その後に食べる生徒の笑顔を想像してしまいます。



各ご家庭の事情等もあると思いますが、値段の安さ（市が半額負担しています）、美味しさ、栄養バランスなど、魅力いっぱいの中学校給食ですので、積極的に利用していただければと思います。10月24日のホノルル給食では、茅ヶ崎市の広報誌の取材がありました。台中の給食の様子も含めて12月号で大きく紹介されます。是非ご覧ください。

～台中生の活躍～ 第39回茅ヶ崎寒川地区英語弁論大会 10月19日 茅ヶ崎市民文化会館

今年度は3年生2名が鶴が台中学校の代表として出場し、それぞれ“Practice makes perfect”、“This is me”と題し、英語で堂々としたスピーチを披露しました。

二人のスピーチでは、顔の表情やジェスチャーだけでなく、言葉にも“表情”がある豊かな表現力を感じました。また、適切な発音や抑揚で、テンポよく自分の考えや思いを聴衆に伝えていました。

人前で自分の考えを主張することは、それが母国語でないならなおさら難しいことです。しかし二人は立派にやり遂げることができました。AIの急速な発展が続いても、自分の言葉で相手に直接伝えたり、コミュニケーションをとったりすることの大切さは変わりません。英語をはじめとする外国語を学ぶことは、自分の世界を広げます。私は英語の教師でしたので、二人のスピーチを聞いて、全ての台中生がもっと外国語や外国の文化に興味をもち、未来への可能性を高めていってほしいと改めて思いました。

そうだ、“理科室”へ行こう！



授業の様子・先生方のこだわりなどを発信します！

今回は、2年1組の理科の授業です！先生の言葉や問いかけに全員が反応し、先生自身の経験談など交えながら生徒の興味・関心を高めている様子が窺えました。学習内容に関する“クイズタイム”は生徒たちも楽しみにしているようで、盛り上がった場面

授業の様子の写真が入ります。

でした。授業後のインタビューに答えてくれた生徒からは、「いつもわかりやすい資料を用意してくれたり、クイズを取り入れて楽しく学べるよう工夫してくれたりする」、「実験の時は、注意点をしっかりと伝えてくれ、説明もわかりやすい」との言葉がありました。先生の授業を通して、「理科好きな台中生」がもっともっと増えることを期待します！

先生の授業へのこだわりは・・・？ 『生徒が自分の身の回りの事象などに関心をもてるよう工夫しています。『発見、驚き、感動』を大切にし、生徒が自分の興味があるものを見つけたり、物事を考え、つなげていったりできるような授業を心がけています。授業を通して、大人になった時に、変化の速い時代を力強く生き抜いていけるような、真の「生きる力」を身に付けてほしいです。』

教頭先生のつぶやき・・・

前期の課程が終わり、あっという間に一年の折り返しとなりました。初めての職場で、初めての教頭職ということで、目まぐるしく過ぎるあまり、余裕がなくなっている自分に気がきました。いつもなら笑顔で寛容に過ごしていた心持ちが、自分の感情を抑えられず、感情的になる瞬間がありました。こんな時こそ立ち止まり、リフレッシュする時間を作ろうと思っています。私の場合は、テニスをしているときには、無心になり、心が晴れやかになります。スポーツに限らず少しの時間でも、気持ちが晴れる時間は大切ですね。皆さんはどんな風に心のリフレッシュをしていますか？